

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

Ver3.0 2026/4/1 作成

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： 腹腔鏡下幽門保存胃切除術と幽門側胃切除の栄養学的比較検討

研究の目的

腹腔鏡下幽門保存胃切除術（LAPPG）は腹腔鏡下幽門側胃切除術（LADG）に比べ術後の体重減少率を低減させることが報告されていますが、栄養学的に差があるかは不明であり、比較検討された報告は少数です。当科で手術を施行した pStageI の胃癌症例を対象に術後体重や栄養指標を検討し、栄養学的な観点で LAPPG を行う利点があるのかどうかを検討することを目的とします。

研究実施期間： 実施許可日 ～ 2028 年 4 月 30 日

対象となる方： 2014 年 4 月から 2023 年 4 月の間に当院で LAPPG もしくは LADG を施行された 75 歳以下の早期胃癌 75 例を対象とします。

利用させていただきたい情報について

（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

当院のカルテに記録されている情報のうち、臨床所見、手術所見、病理所見について、標記研究課題実施のために利用します。

具体的には、術後体重の推移や検査データ、栄養指標の推移を観察し、手術術式によって術後の栄養状態に差があるかを検討します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	弘前大学医学部附属病院消化器外科 菅 葉月 E-mail: kan-h@hirosaki-u.ac.jp Tell : 0172-39-5079
-------	--